

一般国道159号津幡^{つばた}バイパスの整備推進

石川県かほく市～金沢市

1. 事業の概要

津幡バイパスは、一般国道159号の津幡町地内の交通混雑の緩和及び金沢市^{かなざわ}と能登^{のど}地域との連携強化を目的とした、石川県かほく市内^{うちひすみ}日角から金沢市^{いまち}今町に至る延長約11.6kmの道路です。

2. 事業の経緯

昭和46年度に事業着手し、昭和47年度に用地着手、昭和48年度に工事着手しています。また、地域高規格道路である「月浦^{つきうら}白尾^{しろお}IC連絡道路」の一部として、平成7年4月に整備区間に指定されています。

平成15年度までに延長約6.9kmの完成4車線供用及び延長約4.7kmの暫定2車線供用を行い、全線供用したところです。

3. 平成19年度事業の内容

平成19年度は、津幡北^{つばたきた}バイパス全線暫定開通に備え舟橋^{ふなはし}ジャンクション付近の円滑な交通を確保するため、現在暫定2車線で供用しているかほく市内^{うちひすみ}日角～舟橋間のうち、能瀬^{のせ}・舟橋地区の改良工事及び舟橋高架橋(L=230m)の橋梁工事を推進します。

